

平成 19・20 年度 土木学会 複合構造委員会

第 2 回 議事録(案)

1. 日 時：平成 20 年 1 月 17 日(木) 14:05 ~ 16:50
2. 場 所：土木学会 講堂
3. 出席者：園田顧問，中島委員長，渡辺幹事長，伊藤委員，上平委員，緒方委員，小林(朗)委員，小林(洋)委員，佐々木委員，滝本委員，津吉委員，中村(俊)委員，西垣委員(代理)，野上委員，野村委員，藤井委員，三ツ木委員，山田委員，吉田委員，渡辺(浩)委員，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，葛西幹事，島幹事，武知幹事，古市幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，岡田事務局員

(敬称略，計 31 名)

4. 配布資料

- 資料2-1-1 平成19，20年度委員会名簿
- 資料2-1-2 平成19，20年度幹事会名簿
- 資料2-1-3 複合構造委員会組織図
- 資料2-2 第1回 複合構造委員会 議事録(案)
- 資料2-3-1 第1回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 資料2-3-2 第2回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 資料2-3-3 第3回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 資料2-3-4 第4回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)
- 資料2-4 平成19年度 委員会予算執行状況
- 資料2-5-1 2007年度 委員会自己評価
- 資料2-5-2 2008年度 委員会活動計画
- 資料2-5-3 平成20年度 年次大会共通セッション応募報告
- 資料2-5-4 平成20年度 セミナー助成応募報告
- 資料2-5-5 平成20年度 重点課題募集
- 資料2-6 平成19年度 年次学術講演会報告
- 資料2-7-1 国際セミナー報告
- 資料2-7-2 第7回 複合構造の活用に関するシンポジウム報告
- 資料2-7-3 現場見学会報告
- 資料2-8 出版関係
- 資料2-9-1 複合構造物の性能照査指針小委員会
- 資料2-9-2 複合構造の現状調査小委員会
- 資料2-9-3 維持管理小委員会
- 資料2-9-4 新技術による複合技術小委員会
- 資料2-9-5 FRP複合橋梁小委員会
- 資料2-9-6 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶 (資料 2-1-1 ~ 2-1-3)

中島委員長より挨拶がなされた。

引き続き、渡辺幹事長より、平成 19・20 年度委員会、幹事会名簿および委員会・幹事会体制の確認がなされた。なお、今後、委員会で配布する名簿は、個人情報保護の観点から、氏名、勤務先名称のみを記載するとの報告がなされた。

(2) 第 1 回 議事録(案)の確認 (資料 2-2)

渡辺幹事長より、2007 年 7 月 5 日(木)に開催された第 1 回 委員会議事録(案)の確認がなされ、承認された。

(3) 幹事会報告 (資料 2-3-1 ~ 2-3-4)

山口幹事、武知幹事ならびに池田幹事より、第 2 回 ~ 第 4 回の幹事会議事録(第 4 回のみ、議事録(案))の報告がなされた。なお、ホームページへ記載する個人情報(現状は、氏名、勤務先名称のみ記載)に関しては、再度、各小委員会にて確認の後、山口幹事宛に連絡することになった。

(4) 平成 19 年度 委員会予算の執行状況 (資料 2-4)

渡辺幹事長より、平成 19 年度 委員会予算の執行状況について報告がなされた。

(5) 審議事項

示方書小委員会設立 (資料 2-9-1)

まず、中村委員(性能照査指針小委員会・委員長)より、複合構造物の性能照査指針小委員会の活動報告について、現在、現行指針(案)の改訂版とりまとめの最終作業を行っており、2008 年 2 月に幹事ならびに委員へ一次(案)を提出する予定であるとの報告がなされた。報告の後、示方書の責任(土木学会としての位置付け)を再度、明確にする、外部の意見照会を行うことなどの意見交換が行われた後、『性能照査指針(案)』を、『示方書』として刊行することが承認された。つぎに、性能照査指針小委員会とは別途、審議する場として、示方書小委員会を設立したい旨の説明がなされ、小委員会のメンバーには、『鋼・合成構造標準示方書』作成に携われた方を加える、鋼構造委員会ならびにコンクリート委員会と連携を深めるようになどの意見が出された。なお、示方書小委員会委員長は上田多門北海道大学教授にお願いする予定であることが報告され、示方書小委員会の設立が了承された。なお、示方書小委員会の委員は 10 名程度で、公募は行わないこととなった。

平成 20 年度 重点研究課題(研究助成金)募集 (資料 2-5-5)

渡辺幹事長より、平成 20 年度 調査研究委員会への重点研究課題(研究助成金)に関して、課題名、研究目的および研究内容があれば 1 月 31 日(木)までに、幹事長宛に連絡頂きたい旨の依頼がなされた。なお、依頼が無い場合は、示方書作成のための活動費として申請する予定であることが報告された。

(6) 委員会報告事項

2007 年度 委員会自己評価 (資料 2-5-1)

渡辺幹事長より,2007年度 目標/計画(アクションプラン)と実施状況・今後の課題について報告がなされた。

2008年度 委員会活動計画 (資料 2-5-2)

渡辺幹事長より,平成20年度 事業計画および予算要求調書について報告がなされた。

平成20年度 年次学術講演会共通セッション応募報告 (資料 2-5-3)

渡辺幹事長より,平成20年度 年次学術講演会/共通セッションへ“複合構造物”としてセッションタイトルを応募したとの報告がなされた。なお,今年度から,共通セッションで開催していた「革新的構造材料」を,「複合構造」のセッションに集約するため,山田委員より,主題に“FRPなどの革新的構造材料も複合構造のセッションで取り扱う”旨を追記して頂きたいとの依頼がなされた。

平成20年度 セミナー助成応募報告 (資料 2-5-4)

渡辺幹事長より,「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成として,2008年11月に台湾で開催予定の韓国・台湾とのジョイントセミナーで申請した旨の報告がなされた。

(7) 平成19年度 年次学術講演会について (資料 2-6)

渡辺幹事長より,平成19年度 土木学会全国大会/研究討論会『題目:複合構造を生かす - 許容応力度設計から性能規定型設計へ -』ならびに第62回 年次学術講演会プログラム(投稿数56編)について報告がなされた。なお,研究討論会の入場者数は,全22テーマ中3番目(90名)であった。

(8) 第7回複合構造の活用に関するシンポジウム (資料 2-7-1 ~ 資料 2-7-3)

池田幹事,古市幹事および本間幹事より,『第7回 複合構造の活用に関するシンポジウム』(シンポジウム,新東名高速道路 現場見学会ならびに国際ジョイントセミナー)について報告がなされた。なお,今後,「FRP 橋梁に関するシンポジウム」を当シンポジウムに組み入れる,建築学会内のFRP関連の委員会との連携をどのように図るかなどの検討事項が挙げられた。

(9) 出版関係 (資料 2-8)

武知幹事より,複合構造委員会から出版した書物の販売状況ならびに2007年11月22日(木)に開催された出版委員会において承認された平成20年度の出版書について報告がなされた。承認された出版書は,以下のとおりである。

- ・ 複合構造標準示方書
- ・ 複合構造レポート02『各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価資料』

なお,複合構造レポート03『複合構造物の現状調査報告』は,平成20年度の出版書として追加申請する旨の説明がなされた。

(10) 小委員会活動報告 (資料 2-9-2 ~ 資料 2-9-6)

複合構造物の現状調査小委員会 (資料 2-9-2)

上平委員より,活動状況の報告がなされた。現在,複合構造レポート『複合構造物の現状調査報告』の報告書とりまとめ作業を行っており,2月末の幹事会に提出する予定であ

る。

維持管理小委員会 (資料 2-9-3)

溝江幹事より、活動状況について、前回の小委員会にて議論した最終成果を各 WG で検討中であるとの報告がなされた。

新材料による複合技術研究小委員会 (資料 2-9-4)

大垣幹事より、活動状況について、複合構造レポート『各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価資料』の内容について、審議中であるとの報告がなされた。

FRP 複合橋梁小委員会 (資料 2-9-5)

山田委員(FRP 複合橋梁小委員会・委員長)より、活動状況について、各 WG で活動を行うとともに、水産庁から、瀬戸内の栈橋で FRP が適用できないかとの問い合わせがあり、現在、議論中であるとの報告がなされた。

FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会 (資料 2-9-6)

山口幹事より、活動状況の説明がなされた。

(11) その他

- ・ 学会担当が、川島事務局員から岡田事務局員に交代されたとの報告がなされ、岡田事務局員から挨拶を頂いた。
- ・ 次回委員会
日 時：未定
場 所：未定

以上(記録・文責 大山 理)